



意見交換会

議会報告会終了後は、2つの会議室に分かれて、それぞれのテーマに沿った意見交換会を行い、様々な意見が交わされました。町民からの声をご紹介します。

総務民生委員会 こども家庭センター



- ・こども家庭センターの年齢の対象は。青少年は対象か。ひきこもりや学校を中退した方などの受け皿にもなるか。
- ・ウガンヌ前公園に若者が集まる。問題のある子も多い。そんな子たちの受け皿が南風原町では薄いと感じる。
- ・窓口が一つになると便利なのはわかるが、土日や時間外への対応、また支援の先がなければ相談ベースで終わってしまう。民間企業や地域と連携しながらこども家庭センターをどう作っていくか。
- ・こども家庭センターとはどんな組織か。わかりやすい周知をしてほしい。

経済教育委員会 mobi (モビ)



- ・mobiは知っていたが、具体的な生活シーンでの使い方を周知してはどうか。
- ・町民の認知率はどれぐらいで、どこからの補助金を活用しているのか。
- ・朝の通学等に使えるように検討できないか。
- ・首里駅とのリンクはできないか。
- ・福祉や住民サービスの観点からもmobiは必要なので継続してほしい。継続できなくても、引き続き議論を重ね、議員から様々な提案をしてほしい。



皆様からアンケートを頂きました

やわらかい
空気感で
良かった。

町民にとっても町が
住みやすくなるために、
問題意識を持って意見を
言える場がある事にこの
報告会の意義があると思いました。

今年も楽しみにしてました。
議場に入れるのがとてもワクワクします。夕方に開催してくださって、議員の皆さんの配慮に感謝します。



皆さまのご意見を 議会から町長へ

【要望事項及び回答(要約)】

- 津嘉山公園に木陰を作るなど考慮してほしい。
→遊具設置時に日よけ対策を検討する。
- 妊婦歯科検診の周知を工夫してほしい。
→対象者全員に届くよう周知を行う。
- こども家庭センターの運用について、時間外の対応や民間との連携など取り組んでほしい。また若者や不登校など多様なニーズに対応してほしい。
→母子保健と児童福祉を一体化し、民間との連携は可能かも含めて検討する。
- mobiについては様々なニーズが確認できた。今後も丁寧に検討してほしい。
→利用環境改善や充実の検討を丁寧に進める。事業継続は総合的に判断する。



要望書受け渡し



回答全文はこちら

第15回議会報告会・意見交換会

町民の声をこれからの町政へ

開催日：令和8年6月5日(金) 参加者：約40名
会場：南風原町役場 議場
テーマ：令和8年度の主な事業、こども家庭センター、mobi



報告会の様子は
こちらから



問 津嘉山公園の遊具選定はこれから行うとのことだが、住民の立場で提案とか意見をする場合はどのようにお伝えすればいいか。遊具が熱くてやけどしてしまうことがあるため、太陽が出ていない時や夕方しか遊べない状況がある。木陰が無いと厳しい。整備するときに木陰を作るなどを考慮してほしい。

回答 まさに議会報告会の意義があるご意見です。これからどのように選定されるかは確認していませんが、頂いたご意見は執行部へ伝えます。



参加者からの質疑



問 妊婦歯科健診はすごくいい取り組みだと思う。必要性が見いだされた経緯は。実施にあたってどのように周知されていくのか。

回答 母親の歯の健康を守ること、胎児にも影響があるだろうということが今回の妊婦歯科検診がスタートした背景です。まずは新たなサービスが始まるということで議会で承認されました。

議会報告会は去年からの試みとして、より議会を身近に感じてもらうため、議場で開催しています。質疑応答や意見交換会においても多くの意見が交わされました。当日の質疑や意見等をご紹介します。